

IX 財務について

【財務運営について】

(1) 学校法人もしくは短期大学は「中・長期の財務計画」を策定していますか。もし策定していれば、その計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

大学設立計画及び高校グラウンド計画が完了した平成 16 年度に、新たな計画が立案された。大学新学部増設計画である。校舎建設，機器備品の設置，運営資金の保有等々，多額の資金を必要とするため，他の計画は保留となった。次年度メディア造形コースの新設については，現校舎の改築で間に合わせることはなかったが極めて不十分であり，財務計画の細かい見直しが必要であったと思われる。総じて，本学の財務計画は当面の必要経費に追われて，緻密な計画が欠如しているようである。

この新学部設置計画は，理事長を中心に学園本部で企画され，理事会及び大学の教授会で承認され，学園本部で実行される。

(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画と予算はどのような過程，手続きで決定していますか，決定にいたる過程を簡潔に記述して下さい。

通常の事業計画，予算の策定は各部局の長が取りまとめ，本部長又は副理事長に提出し，それぞれ認められたものが理事長の承認を得て決定される。通常，慣例的に毎年同じく行われるものについては，特別に査定されることはなく予算化される。

(3) 決定した予算はどのように短期大学の各部門に伝達していますか。また予算執行に係る経理，出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について，整備している規程を一覧表にして下さい。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

予算の伝達は，副理事長より，各部局の長及び事務室長に伝達される。予算の執行は担当教員の申し出により，部局の長の承認の上，事務室長に予算執行願が提出され，事務室長と業者の交渉の後執行される。

本学の予算執行の問題点としては，予備費の使用について，かなりの自由が利くので，事業計画の策定が甘くなり，年度中に思いつくままに事業の申請が行われ，それが通って行く。したがって，年間計画に基づく発展的な計画性に欠けており，経営サイドと計画立案責任者の一層の責任の自覚と厳しさが求められる。

しかし，必要が生じた時，直ちに対応でき硬直化することはない。今後は，中長期的な展望に沿った予算計画が必要と考えている。

(4) 過去3ケ年の監事の監査状況を監査内容を含めて年月日の順に記述して下さい。過去3ケ年の公認会計士監査状況の概要を年月日の順に記述して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。

① 監事の監査状況

平成15年度	4月	5月	10月	2月	計	6日間
平成16年度	4月	5月	10月	2月	計	6日間
平成17年度	4月	5月	11月	3月	計	6日間

② 監事の監査内容

財産状況の監査及び理事の業務執行状況の監査
監査の結果、理事へ具申された意見はない
以上は、3か年とも同様である。

③ 公認会計士の監査状況

平成15年度－平成15年8月18日より16年5月18日まで延べ日数52日
平成16年度－平成16年8月25日より17年5月23日まで延べ日数59日
平成17年度－平成17年8月4日より18年5月19日まで延べ日数59日

④ 公認会計士の監査の内容

財務にかかわる計算書類の監査
監査の結果特に指摘される事項はなかった
以上は3か年とも同様である

⑤ 監事と公認会計士の連携について

監事は、公認会計士と連携し、期中監査状況や決算監査状況についての意見を聞いている。

(5) 財務の公開は今までどのように行ってきましたか。また改正私立学校法により今後の財務の公開をどのように考えていますか。その概要を記述して下さい。

従来より、「金城大学短大だより」という短大の広報誌に、金城学園の消費収支計算書の大項目及び貸借対照表の大項目の計算書を公開してきた。

寄附行為の改定により、財務計算書一式を学園本部に備え付け、関係者の中で希望する人は閲覧できるように準備されている。

16年度自己点検・評価報告書に、資金収支、消費収支、貸借対照表の大項目の一覧表を記載した。

◇参考資料No.27「短大だよりNo.39」p.7

(6) 寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えていますか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

学校法人の特質に鑑み、安全及び確実を旨とし、かつ有利な方法をもって運用する。同時に、現在の低金利時代に、銀行の定期預金にのみ頼るのでは余裕資金を管理する者としては不誠実である。公社債や公社債投信、時によっては外国の同様の、より金利の高いものでの運用を考えなければならないと考えている。

(7) 寄付金・学校債の募集を行ってればその概要を記述して下さい。なお寄付金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

寄付金・学校債の募集は行っていない。

【財務体質の健全性と教育研究経費について】

(1) 過去3ケ年（17年度評価の場合は14～16年度）の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を別紙様式1に従って作成し、この報告書に添付して下さい。

別添の添付資料のとおりです。◆別冊添付資料No.10「資金収支計算書・消費収支計算書」

(2) 前年度末（17年度評価の場合は17年3月31日現在）の貸借対照表の概要を、別紙様式2に従って作成し、この報告書に添付して下さい。

別添の添付資料のとおりです。

◆別冊添付資料No.11「貸借対照表」

(3) 財産目録及び計算書類（資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細票・借入金明細表・基本金明細表）について、過去3ケ年分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

訪問調査の際にご覧ください。◇参考資料No.33「財産目録及び計算書類（過去3ケ年）」

【財務体質の健全性と教育研究経費について】

(4) 過去3ケ年の短期大学における教育研究経費比率（消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率）を、小数点以下2位を四捨五入し1位まで求め記述して下さい。

過去3か年の短期大学部における教育研究経費比率は次のとおりである。

教育研究経費比率	平成17年度	平成16年度	平成15年度
教育研究経費 帰属収入	19.5	20.2	21.1

【施設設備の管理について】

(1) 固定資産管理規程，図書管理規程，消耗品及び貯蔵品管理規程等，施設設備等の管理に関する諸規程を，財務緒規程を含めて一覧表として示して下さい。なお整備した緒規程を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

固定資産及び物品管理規程	経理規程	給与規程
出張旅費規程	退職金規程	研究費使用規程
奨学金規程	国際交流基金規定	学納金の減免に関する内規
図書館規程	図書館利用規程	

【施設設備の管理について】

(2) 火災等の災害対策等，以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。

- ① 火災等の災害対策
- ② 防犯対策
- ③ 学生，教職員の避難訓練等の対策
- ④ コンピュータのセキュリティ対策
- ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策
- ⑥ その他

- ① 火災の対策としては，校舎内に火災報知器が設置されており，防火管理者の資格を所有する職員も配置し，年1回の消火器の取扱い訓練を実施している。また，地元消防署による定期点検も受けている。なお，災害に備え各教室・学内には，避難経路を示した校舎配置図を掲示してある。
- ② 防犯に関しては，短大事務室を中心とした校舎本館の主要部分，コンピュータ準備室及び図書館は，警備保障会社による機械警備を設置している。その他の部分は，用務員が早朝に開錠し，夜帰宅前に全部屋の施錠を確認している。校舎出入口は，チェーンにより閉鎖している。なお，大学棟は全館機械警備となっている。本学は，女子学生が多いこともあり，前期，後期のガイダンスでは，学生に対し防犯の意識づけを行うとともに，地元の警察には，校舎周辺の巡回を多くするよう依頼している。
- ③ 学生，教職員の避難訓練については，定期的には実施していない。
- ④ コンピュータのセキュリティに関しては，大学と共通のコンピュータネットワーク管理センターを設け，高水準の安全対策を講じている。
- ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策に対する取組みとしては，ビジネス実務学科が平成17年11月15日に，「チーム・マイナス6%」参加の承認を受けている。具体的な行動として，①各教室にスローガンを掲げる，②棟内保温を呼び掛ける，③マイカップ使用運動を展開する，④合宿研修において，新入生への啓発活動など学生・教員が一体となって環境意識の向上を図ってきた。さらに，18年度からは，短期大学部，社会福祉学部も含めた全体としての参加の方向に進めていく予定である。